

平成28年11月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年12月20日

I. 概況

1. 売上高総額	1,441億円余
2. 前年同月比	-1.4% (4か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-1.0%(90.0%) : 非店頭-5.0%(10.0%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年10月対比±0店)
5. 総店舗面積	882,503㎡ (前年同月比:2.9%)
6. 総従業員数	18,908人 (前年同月比:-0.8%)
7. 3か月移動平均値	4-6月 -3.1%、5-7月 -2.2%、6-8月 -2.6%、 7-9月 -2.6%、8-10月 -4.5%、9-11月 -3.0%

[参考] 平成27年11月の売上高増減率は0.2%

【特徴】

- (1) 11月の入店客数は、日曜1日減や一部店舗で季節外れの降雪の影響を受けながらも、0.1%減でほぼ前年並みで推移。売上高は改善傾向を見せてはいるが1.4%減で4か月連続のマイナスに終わっている。
- (2) 商品別では主要5品目のうち、食料品が0.6%増で4か月ぶりにプラスに転じた。また、昨年伸び悩んだ衣料品は、気候低下に伴い重衣料を中心に動きを見せたものの、0.5%減でわずかに前年に届かなかった。
- (3) 細分類では、化粧品が6.0%増で20か月連続プラスを記録しているほか、クリスマスケーキの早期受注が好調な菓子が0.4%増で4か月ぶり、歳暮が堅調なその他食料品が2.8%増と2か月ぶりにプラスに転じている。
- (4) 個別商材では、コートやマフラーなどの防寒衣料が好調。都心店舗では、通勤時利用の婦人チェスターコートやダッフルコートなどに人気が集まっている。また、本年はクリスマスが週末3連休にあたることから、自宅で家族と過ごす傾向が見られることで、自宅配送用のクリスマスケーキに伸びが見られる。
- (5) 12月は15日現在2%強のマイナスで推移。なお、米国大統領選をきっかけとした円安・株高による消費マインドの盛り上がりについては、限定的との報告が入っている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:7店、②変化なし:3店、③減少した:9店
- (3) 11月歳時記(歳暮、七五三)の売上 (同上/有効回答数10店舗)
①増加した:2店、②変化なし:4店、③減少した:4店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年11月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	144,119,144	100.0	-1.4
紳士服・洋品	12,743,877	8.8	-1.4
婦人服・洋品	25,913,343	18.0	-0.6
子供服・洋品	2,382,197	1.7	-0.2
その他衣料品	2,653,651	1.8	5.8
衣 料 品	43,693,068	30.3	-0.5
身のまわり品	18,372,645	12.7	-5.7
化粧品	11,618,104	8.1	6.0
美術・宝飾・貴金属	8,303,822	5.8	-11.9
その他雑貨	5,684,331	3.9	-2.8
雑 貨	25,606,257	17.8	-2.4
家具	1,591,068	1.1	-4.8
家電	1,825,893	1.3	19.2
その他家庭用品	4,212,978	2.9	-10.0
家庭用品	7,629,939	5.3	-3.2
生鮮食品	6,389,662	4.4	-1.1
菓子	10,184,042	7.1	0.4
惣菜	8,032,937	5.6	-1.6
その他食料品	15,339,513	10.6	2.8
食 料 品	39,946,154	27.7	0.6
食堂 喫茶	2,986,575	2.1	-4.6
サ ー ビ ス	2,211,043	1.5	5.7
そ の 他	3,673,463	2.5	-2.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	4,283,608 千円	-3.8
従業員数	18,908 人	-0.8
店舗面積	882,503 m ²	2.9

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、食料品が4か月ぶりのプラスとなった。その他の品目は、全国同様化粧品が20か月連続のプラス、その他衣料品、家電、その他食料品が2か月ぶり、菓子が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.4	-	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.4	-0.1	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-0.6	-0.1	13か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.2	0.0	5か月連続マイナス
その他衣料品	5.8	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	-0.5	-0.1	13か月連続マイナス
身のまわり品	-5.7	-0.8	4か月連続マイナス
化粧品	6.0	0.5	20か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-11.9	-0.8	9か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.8	-0.1	4か月連続マイナス*
雑貨	-2.4	-0.4	4か月連続マイナス
家具	-4.8	-0.1	3か月連続マイナス
家電	19.2	0.2	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-10.0	-0.3	7か月連続マイナス
家庭用品	-3.2	-0.2	3か月連続マイナス
生鮮食品	-1.1	-0.1	9か月連続マイナス*
菓子	0.4	0.0	4か月ぶりプラス*
惣菜	-1.6	-0.1	5か月連続マイナス*
その他食料品	2.8	0.3	2か月ぶりプラス*
食料品	0.6	0.2	4か月ぶりプラス
食堂喫茶	-4.6	-0.1	11か月連続マイナス
サービス	5.7	0.1	5か月連続プラス
その他	-2.6	-0.1	16か月ぶりマイナス
商品券	-3.8	-0.1	21か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>